

2011 年度問題演習

表現の自由の制約の合憲性をめぐる判断枠組みに関する次の問 1 から問 3 までの各記述について、最高裁判所の判例の趣旨に照らして、それぞれ正しい場合には を、誤っている場合には を付しなさい。

- 問1 広告物が貼付されている場所の性質、周囲の状況、広告物の数量や形状、貼付の仕方等を総合的に考慮し、地域的美観風致の侵害の程度と当該広告物に表れた表現の持つ価値とを比較衡量してその規制の合憲性を判断すべきである。
- 問2 裁判官による積極的な政治運動の禁止の目的は、裁判官の独立及び中立・公正の確保に対する国民の信頼の維持、そして司法と立法・行政とのあるべき関係を規律することであるので、その要請は、一般職の国家公務員に対する政治的行為の禁止の要請よりも強いものというべきである。
- 問3 問題となっている写真集のわいせつ性については、芸術など性的刺激を緩和させる要素の存在、問題となっている各写真の写真集に占める比重、作者に対する当該分野の評論家からの評価、その表現手法等の観点から、写真集を全体としてみて判断すべきである。

----- キリトリ -----

演習	ふりがな		解 答	問 1	問 2	問 3
	氏 名					